

第15講 博物館と遠隔教育

本日の授業資料
kyoiku2023_15-1-9 pdf×7、mp3×2

1. インターネット以前の遠隔教育 音声ファイル1 Kyoiku2023_15-8.mp3

1) 放送

ラジオやテレビの語学番組が代表的な内容。かつてはテキスト雑誌を併用、現在はスマホアプリと併用する形式になっている。それ以外にも料理や俳句、ランニングや自転車など趣味や教養の講座も充実している。インターネットが普及した現在では、スマホによる学習と併用する形式でも継続されている。とはいつても語学番組や高校講座は縮小や統合が進んでいる。テレビのロシア語講座は2022年度で終了。通信制高校のうちNHK学園高等学校はEテレの高校講座の視聴をおもな授業としている。

NHKゴガク | NHKゴガク <https://www.nhk.or.jp/gogaku/index.html>

NHK学園高等学校 | 全国から入学できる広域通信制高校 <https://www.n-gaku.jp/sch/>

放送大学は上述の教育番組とは一線を画した国の事業。特徴は、①専用チャンネルによる衛星放送＝全国民への公平なサービス提供、地上波では視聴困難地がどうしても残る、②既存の大学と同等の学位の発行、③他大学との単位交換の実現＝既存の大学のカリキュラム補完の役割、学芸員養成課程の科目の一部を放送大学の授業で充当している場合もあった。

通信制大学・大学院の放送大学 <https://www.ouj.ac.jp>

放送大学の博物館教育論

<https://www.wakaba.ouj.ac.jp/kyoumu/syllabus/SC02060200211/display.do?taglib.html.TOKEN=f251588d5a9670912991a12ac22d96d1>

2) 通信教育・通信講座

安全確実迅速な日本の郵便制度や宅配便の存在を前提にした教育方法。多数の生徒に向けた一斉指導をおこなう学校方式ではなく、個別指導の寺子屋方式の教育である。中高生向けの授業補助や受験対策のほか、ペン字やなどの趣味教養の分野、資格取得を目的にした講座もある。各種の教材は郵送や宅配などを用いるものの、インターネットの普及以降はタブレットを併用するなどネットとは共存していくよう。

公式 | 進研ゼミ中学講座 | 中学生向け通信教育・タブレット学習教材 <https://chu.benesse.co.jp>

Z会 | 日々の学習から受験・資格まで、本物の学力を養成する教育サービスを提供 <https://www.zkai.co.jp>

通信教育講座なら生涯学習のユーキャン <https://www.u-can.co.jp>

【もうすぐ創業100周年】資格取得は通信教育のがくぶん <https://gakubun.net/Shop.jsp>

3) 通信制高校

通信制高校は全日制高校と同等の高校卒業資格が得られる。「登校拒否」改め不登校児童生徒の増大は、学校制度や登校そのものへの疑問が普遍化し、現在では通信制高校が普及するようになった。

トップページ - 全国高等学校通信制教育研究会 <http://www.zentsuken.jp/home/>

通信制高校ナビ 通信高校,サポート校の一括資料請求サイト <https://www.tsuushinsei-navi.com>

2. インターネット以降の遠隔学習

1) インターネット学習教材の特徴

既存の通信教育では不可能だった方法が、インターネットによる学習では実現している。あらためて特徴を把握

しておく、①情報の受け渡しの実現、②個別指導の実現、③世界に向けた発信、④動画と音声、⑤変化変更への即時対応、⑥情報の蓄積、⑦過去教材の利用、⑧随時学習、⑨任意学習、⑩安価、などとなる。

2) 語学教養系の学習

以前の語学学習は自宅での録画録音により繰り返し学習が可能ながら発音の矯正が独学では難しかった。これがコンピュータの処理能力の発達とインターネット環境の組み合わせにより相当部分解決した。

【2024年】語学の勉強アプリおすすめランキングTOP10 | 無料/iPhone/Androidアプリ - Appliv

<https://app-liv.jp/education/languages/0036/>

【2024年】その他外国語の勉強アプリおすすめランキングTOP10 | 無料/iPhone/Androidアプリ - Appliv

<https://app-liv.jp/education/languages/0547/>

ELSA - Speak English fluently, easily, confidently <https://elsaspeak.com/ja/>

3) 筋トレやストレッチ、楽器など技術系の学習

筋トレやストレッチ、楽器など技術系の学習は動画が適している。ただし適しているのは画面を見ながら動作可能なもの。サッカーやバスケットなど動きの激しいスポーツ、スキーや水泳など動画視聴が困難な運動はリアルタイムでの動作補正などは難しい。

【2023年版】エレキギター初心者必見！おすすめ YouTuber さん13選！教則本や特長など詳しく解説 | AYG

<https://yutorichblog.com/2023/05/02/guitaryoutuber/>

ストレッチ動画チャンネルのおすすめ8選 | 簡単で分かりやすい人気YouTubeを紹介！ | Smartlogボディメイク

<https://smartlog.jp/191625>

4) 学校の遠隔授業

学校教育での遠隔授業の目的は、都市部と僻地との教育格差の解消、質の高い教育の普遍的な展開にある。高校では2015年度から全日制や定時制高校の遠隔教育が可能となり、現在では高校修了要件の74単位中半数の36単位分まで可能となっている。

文部科学省が想定していたインターネット利用の学校教育は下の資料に示されている。遠隔教育は教育の情報化の一環と考えていたよう。15-3.pdfには「教育ビッグデータ」「Society5.0」といった怪しげな言葉が見える。

遠隔教育の推進について（初等中等教育局情報教育・外国語教育課 2019） [kyoiku2023_15-2.pdf](#)

令和元年度第3回過疎問題懇談会（2019-8-6）配付資料 https://www.soumu.go.jp/main_content/000638150.pdf

これは当時の文科省の方向性を示したもの。「2020年代の早期に、すべての初等中等教育段階の学校で、遠隔教育を活用した教育の質の向上を図っていくことができるよう」としていたが、新型コロナへの対応で2020年に実現してしまった。

[音声ファイル2 Kyoiku2023_15-9.mp3](#)

新時代の学びを支える先端技術活用推進方策（最終まとめ）概要 [kyoiku2023_15-3.pdf](#)

https://www.mext.go.jp/component/a_menu/other/detail/_icsFiles/afieldfile/2019/06/24/1418387_01.pdf

「新時代の学びを支える先端技術活用推進方策（最終まとめ）」について https://www.mext.go.jp/a_menu/other/1411332.htm

全日制・定時制課程の高等学校の遠隔授業：文部科学省 https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kaikaku/1358056.htm

3. 博物館の遠隔教育

1) デジタルコレクション（3年前期「博物館情報・メディア論」で取り上げる）

資料のデジタルデータをインターネットで公開したもの。3Dデータが公開され、研究や応用に利用できる場合もある。国立国会図書館デジタルコレクション <https://dl.ndl.go.jp>

2) バーチャルミュージアム（3年前期「博物館情報・メディア論」で取り上げる）

こちらは展示室を3Dデータ化してインターネット公開、パソコンやスマホで展示室を観覧可能にしたもの。
美術館・博物館情報リンク～バーチャルミュージアム～ | 文化庁

https://www.bunka.go.jp/koho_hodo_oshirase/sonota_oshirase/20031301.html

3) 実際の遠隔教育

博物館と学校を結ぶ遠隔交流学习の試み（岸田ら 2002） [kyoiku2023_15-4.pdf](#)

<https://www.hitohaku.jp/publication/r-bulletin/No13081.pdf>

東京国立博物館と姫島小・中学校(大分県)を結ぶ遠隔授業を実施

https://cpcp.nich.go.jp/uploads/r_db/db_for_press/200204_PR_outreachprogram_avatar-in_9_pdf1.pdf

4. 新型コロナの経験と現在の指針

1) 新型コロナが促進した遠隔教育

コロナ下での学校教育は遠隔教育な実現を強要した。とにかく教育活動を継続する。高額なテレビ会議システムは過去のものとなり、無料で可能で使いやすいズームが急速に普及した。

遠隔教育システム活用ガイドブック第3版（文部科学省 2021） [kyoiku2023_15-5.pdf](#)

https://www.mext.go.jp/content/20210601-mxt_jogai01-000010043_002.pdf

博物館は「専門家とつないだ授業」「専門家とつないだ遠隔学習」「遠隔にある教育資源の活用」「社会教育施設との接続」などとして7か所で現れる。検索してみてください。

学びを止めない！これからの遠隔・オンライン教育 [kyoiku2023_15-6.pdf](#) 現在の文科省の態度

https://www.mext.go.jp/content/20210226-mxt_jogai02-000010043_003.pdf

2) おうちミュージアム

コロナ下の博物館は公立館を中心に休館を余儀なくされ、展示を再開しても体験展示やハンズオンは中断したままだった。その状況下、自宅で博物館を感じられる遠隔メニューが考案され、なかでも北海道博物館が始めた「おうちミュージアム」 <https://www.hm.pref.hokkaido.lg.jp/ouchi-museum/> が注目を集めた。結局はウェブサイトへの誘導であるのだが。

全国230のミュージアムによるおうちミュージアム（渋谷美月 2021） [kyoiku2023_15-7.pdf](#)

令和3年度全国博物館長会議（第28回）フォーラム「コロナ禍への対応と展望」での発表資料

3) オンライン授業

遠隔授業や遠隔イベントの要点は音声。ちゃんとしたマイクの使用、発言者は必ずマイクを使うなど音声への気遣いが大切。下の資料には新型コロナの経験を踏まえた注意点や関連リンクなどがまとめられ参考になる。

オンライン授業 教員支援ポータル | 筑波大学 情報環境機構 学術情報メディアセンター

<https://www.cc.tsukuba.ac.jp/wp/remote-lecture-portal/>

遠隔授業を準備し、実施する上での注意点 | 筑波大学 情報環境機構 学術情報メディアセンター

<https://www.cc.tsukuba.ac.jp/wp/remote-lecture-knowledge/>

新型コロナウイルス感染症を踏まえた、初等中等教育における これからの遠隔・オンライン教育等の在り方について（検討用資料） https://www.mext.go.jp/kaigisiryu/content/20200611-mext_syoto02-000007826_4.pdf

学びの保障と教育格差：新型コロナウイルス感染症をめぐる取組（小林 2020） 情報端末や自宅の学習環境の違いが生む教育格差に注目した報告

https://www.sangiin.go.jp/japanese/annai/chousa/rippou_chousa/backnumber/2020pdf/20201001003.pdf